

大学・高専機能強化支援事業
令和7年度現地調査報告書

大学・高専機能強化支援事業選定委員会

調査日	令和7年12月3日(水)	区分	支援2
選定年度	令和5年度	大学名	熊本大学(ハイレベル枠)
設置等組織名	情報融合学環 工学部半導体デバイス工学課程 大学院自然科学教育部半導体・ 情報数理専攻(修士) 大学院自然科学教育部半導体・ 情報数理専攻(博士)	設置・定員増員 年度	<学士>情報融合学環(R6設置) <学士>工学部半導体デバイス工学 課程(R6設置) <修士>自然科学教育部半導体・情 報数理専攻(R7設置) <博士>自然科学教育部半導体・情 報数理専攻(R7設置)
事業計画名	DX時代の国際社会の基盤となる半導体分野に特色を持つ学部から大学院まで一体化した【熊本大学型】高度情報人材育成プログラム～国の産業政策や地域等のニーズを踏まえた「DX × 半導体人材」の迅速かつ継続的な育成を目指して～		

1. 進捗状況の概要

(1) 事業計画の具体的な取組の進捗状況

- ・事業計画が概ね計画通りに進捗している状況が確認できた。

(2) 好事例や把握された事業の成果

- ・地域の高専との相互単位認定も含めた高専専攻科連携教育プログラム、及び大学等連携推進法人を基盤とした他大学との連携による教育プログラムを試みており、多様な教育資源を活用することにより、教育内容の高度化、及び人的交流・共同研究の更なる活性化が期待される。
- ・地域自治体・企業から講師を招き、初年次実習科目、ゼミナール、PBLといった実践的教育を実施するとともに、トップレベルの専門家による特別講義やセミナーも開催しており、専門性と実践力の両方を培うためのカリキュラムの提供に努めている。
- ・台湾の国立重点大学との交流協定をはじめ、国際的な連携体制の構築と強化に取り組んでいる。海外での短期プログラムやインターンシップの実施、英語カリキュラムの導入等に加え、ダブルディグリープログラムも締結に向けて検討を進めている。
- ・大学院生・社会人学生を対象とした給付型奨学金制度の制定や、女子学生比率の向上のための入試制度における女子枠の導入等、学生の確保に向けて取り組んでいる状況である。今後の状況に応じて支援制度をより一層強化していくことを期待したい。

2. 指摘事項(留意事項・参考意見)

(参考意見)

- ・新設の情報融合学環では、総合大学としての特性を生かし更に多様な分野を取り込み、広範囲な融合を図ることにより、多角的な視点から課題を考える環境が一層醸成されていくことを期待したい。
- ・デジタル・半導体分野における高度情報専門人材としての博士を育成していくことは重要な課題であり、博士課程へ進学するマインドの促進が求められる。例えば学士課程1年生ないし2年生が、ロールモデルとしての博士課程生と交流する機会の提供等、博士課程に対するイメージが早い段階から形成されるための工夫を引き続き検討していただきたい。
- ・企業・自治体から講師を招聘して講義を行うことに加え、学生も企業等へ足を運び、産業界の現場に触れながら実際の状況を知るための機会を提供することも検討していただきたい。